

特/15
999

一般素質検査

(東京高等師範学校 櫻崎凌太郎考案)

甲式

被験者の番號() 検査の時 大正 年 月 日 午前 午後 時

男女 姓名 明治 年 月 日生
大正

學校名

父 第 學年 組 滿 年 月
母

父の父 總 點 數
父の母 精 神 年 齡
母の父 智 能 率
母の母 發 達 限 界 の 豫 想

住 所 縣 市 町 村 番 地

身長	體重	検査 番號	採 點			學 科	採 點		
			得點	評價	順位		得點	評價	順位
健康率	肺活量	1							
頭 圍	頭 橫 徑	2							
提 力 { 右 { 左	頭 縱 徑	3							
身體上の特色		4							
身體上の缺陷		5							
既往症		6							
		7							
		8							
		9							
歩行開始年齢	談話開始年齢	10							
社會的地位 最劣 劣 普通 優 最優		補助1							
通學年數	落第した學年	補助2							
學業成績 最劣 劣 普通 優 最優		補助3							
教師の智能評價 最劣 劣 普通 優 最優		補助4							
其他		補助5							
		合計							
		標準							

大正
12
丙 文 (1)

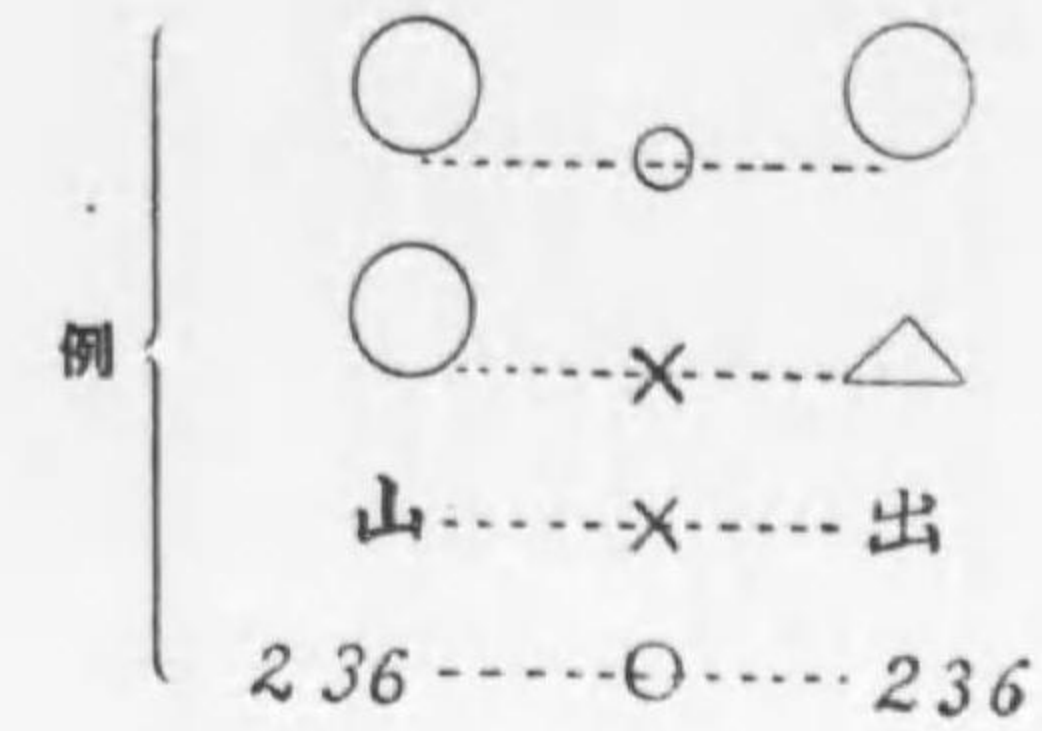
16m
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0

始



練習 1 (時間九十秒)

下の右と左にならべてある二つの者(形、文字、数字、文章、等)を比較して、若し等しかつたら兩者の間の点線の上に○を記せ。若し又兩者がちがつて居れば点線の上に×を記せ。今下にその例を示して置く。



茲から始めよ

3861.....3854

97521.....97524

756839.....756729

62105987.....21059876



空山水谷.....空山水父

今日は天気です.....今日は天気です

教於自及由念.....教於自及由念

日感形本ブンの.....日感形本ブノ

出来たら、やめのあるまで今したことに、誤がないか、よく検して見よ。

(終)

検査の注意 (時間三分)

- (1) これから色々な仕事をするのですから、下を書いてあることをよく読んで置け。
- (2) 鉛筆か、万年筆か、ペンを準備せよ。
- (3) 先生の命令が無ければ、印刷物を見たり、他のページをまくつたりしてはならない。
- (4) 用意、始め、やめ、の相圖に深く注意し、正確にこの相圖に従へ。始めの相圖のないのに勝手に始めてはいけない。
- (5) 各検査にはその前に練習題がある。これでよく検査の仕方を習つて置け。
- (6) 練習の時間は充分にあるから、練習題が終つたら、其の答の正、誤を検して、本當の検査の時に誤らない様にせよ。
- (7) 仕事の仕方は間違はない様にして、しかも速くせよ。
- (8) しかし間違つた答の百個よりも、正しい答の一個が優つてゐる。
- (9) 出来ないのがあつたら飛ばして進め。
- (10) 検査中に質問は許ませぬ。解らなかつたら休んで居れ。
- (11) 字がまちがつても、消しゴムで消さないで、別に書き代へよ。消しゴムで消して居ると時間がなくなるから。
- (12) 検査中気分が悪くなつたり、其の他身體にかほりが起つたら、手を上げて休め。
- (13) まだ時間があるから、も一度読み返してよくおぼえて置け。

(終)

検査 1 (時間五分)

下の二つの者を比較して、若し等しかったら○を、若し違つてゐたら×を點線の上に記せ。仕方を間違はぬ様にして速くせよ。この検査は次ぎの頁につづく。

茲から始めよ

9836425.....98364 5

4163578.....7263758

6541732.....6457132

オウコキクエツ.....オウコキクエメ

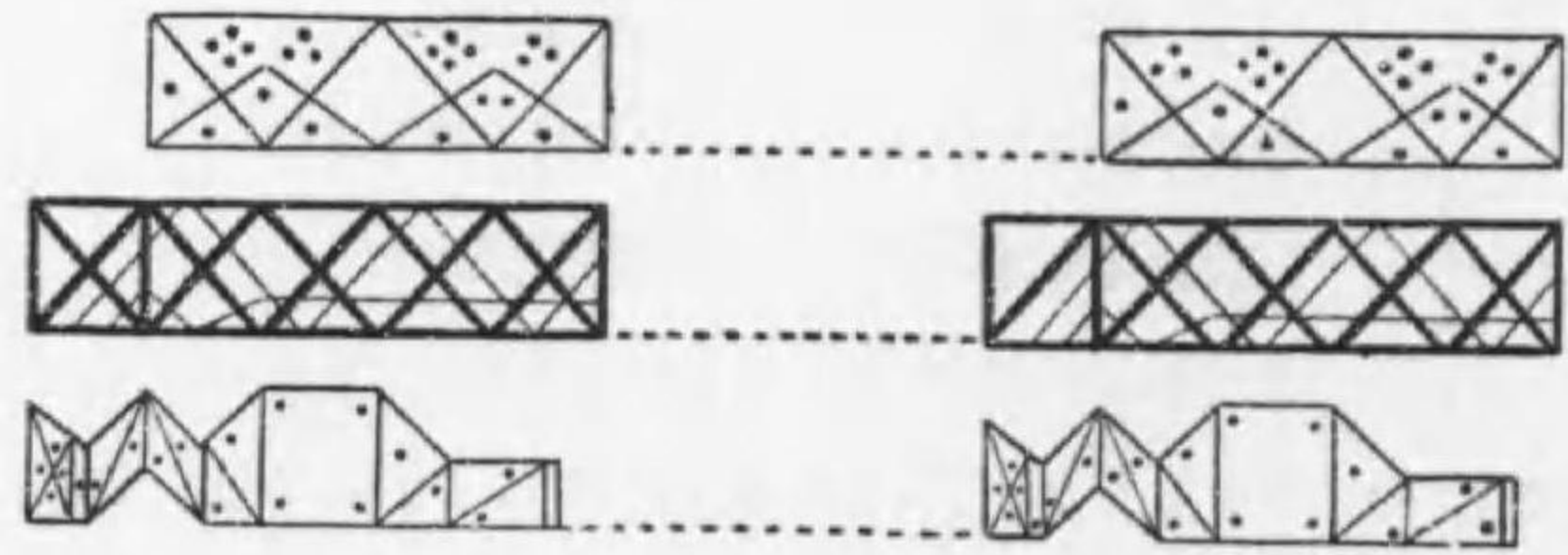
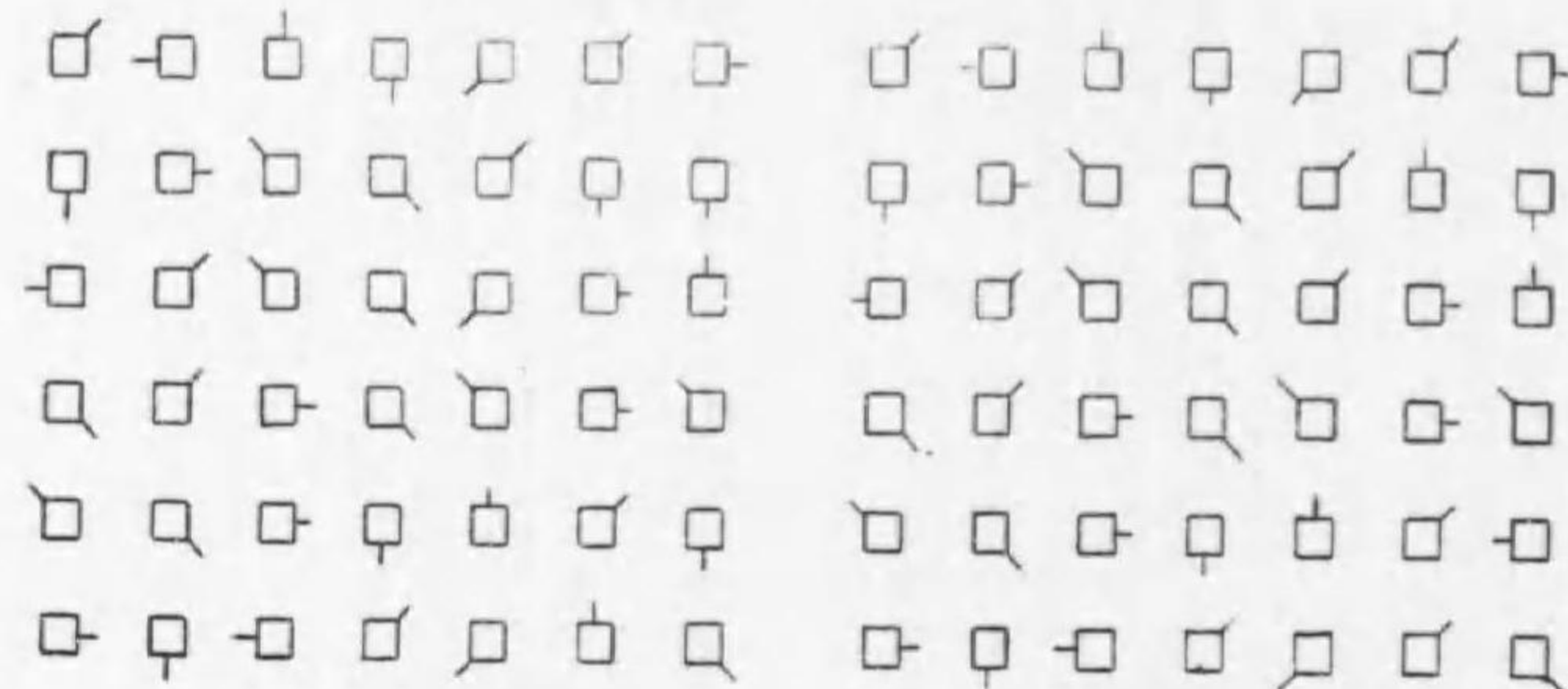
カケキコエアケ.....カケキコエアケ

エイケカアキオ.....エイケカアキオ

皇呈宮客神伸民.....皇呈宮客神伸民

差羊伴洋伯宿縮.....差羊伴洋伯宿縮

時待特彰影儉儉.....時待特彰影儉儉



外國にては犬をして
牛かひ、羊かひの手つ
だひをなさしむ。二三
匹の犬、よく二三百頭
の牛、二三千頭の羊
を追ひまはして主人の
行く方へ行かしむと
いふ。.....いふ。

次の頁に進め。

検査 1 のつづき

40246586.....40246586

57216472.....57216472

875012534.....875012534

742138694.....742138694

8566607362.....8566607362

4439801733.....4439801733

5144667210.....5144667210

クカキオケイコウ.....クカキオケイコフ

カクオケアエコイ.....カクオケアエコイ

メキアクエコオウス.....メキアクエコヲウス

ウケアキエコケカオ.....ウケアキエコケキオ

エイイキカクコメテ.....エイイキカクコメテ

ウクオエアユキカケイ.....ウクオエアコキカケキ

テメコクカキユサメセ.....テメユククキユサメセ

イケカキユアエオクユ.....イケカキユアユエオクユ

札仲替手即水泳少.....札仲替干即水泳少

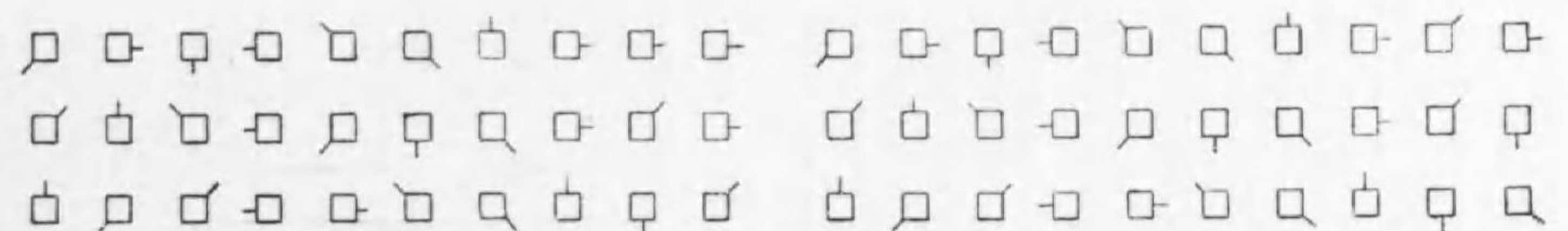
達連辻迂働働紙級.....達連辻迂働働紙級

植魚表沈模様面泥珠.....植魚表沈模様面泥珠

絲紅青根莖浮航明操.....絲紅青根莖浮航明操

電車村屋煙恐工程車船.....電車村屋煙恐工程車船

農忘握男朝週畫隣警敷.....農忘握男朝週畫隣警敷



(終)

検査 2の乙 (時間五分)

下の文字を見て其の下にあつた文字を、検査2の甲に於ておぼえた文字の中から思ひ出して、各文字の下に記入せよ。

衣	神	カボタ	國	ヌケエ	位	人	風	吠	問

芽	知	トミサ	手	皮	ルエワ	山	骨	ルンテ	彼

テビル	ルバモ	メカト	リフユ	ベラア	日	メルゲ	スメカ	テライ	トスカ

ナテオ	紙	ル子ハ	エクレ	海	イロト	ムハイ	ムレブ	習	本

検査 3の乙 (時間五分)

下の文字を見て、其の下にあつた文字を、検査3の甲に於ておぼえた文字の中から思ひ出して、各文字の下に記入せよ。

ミ	ヅ	ヒカル	ア	サ	ミル	ク	ナ	ポーシ

ハラ	シケン	イケ	イヌ	カゼ	オカネ			

女	清	苦	喜	正	足			

遊	山	忠	孝					

守	政	愛	天					

検査 2の甲 (時間十分)

上の字を見たら下の字がすぐ思ひ出される様によくおぼえておけ。例へば上の行の左の端のナテオが出たら光、テビルが出たら草とすぐ思ひ出される様におぼえるのです。光、草、物、爪と横におぼえてはだめです。文字は皆左から右に讀め、心におぼえるので紙に書いて置いてはいけない。

ナテオ	テビル	ベラア	ムレブ	ルンテ	カボタ	エクレ	トミサ	ルエワ	ルバモ
光	草	物	爪	音	校	馬	猿	惡	酒

衣	紙	海	芽	本	知	日	神	國	手
イキロ	マノオ	ケニホ	リフエ	リバブ	レキヌ	トテキ	フテオ	ンツリ	リオフ

イロト	メルゲ	メカト	ル子ハ	ヌケエ	リフユ	ムハイ	スメカ	トスカ	テライ
正	高	名	男	上	蟲	水	船	鳥	大

彼	皮	風	山	問	習	吠	位	骨	人
テコタ	ヤリフ	ヤテル	リゲエ	シエヌ	テアン	ケフン	ヌワオ	タスフ	ロニカ

検査 3の甲 (時間七分)

上の文字を見たら下の文字がすぐおもひだされる様によくおぼえておけ。文字は皆左から右によめ。二と三と四と五との下の文字の順序はおぼえなくてよろしい。上の段のやさしいのから先におぼえよ。

一

ク	チ	ア	サ	ポーシ	ミ	ヅ	ヒカル	ミル
ハ	シ	カ	ホ	アタマ	ナ	ツ	ソ	ラ

二

イ	ヌ	オカネ	ハラ	シケン	イ	ケ	カゼ	
ア	シ	三	フデ	テガミ	イタム	ノム	ハシル	ナク

三

苦	喜	足	女	正	清			
成	家	子	生	泣	飛	美	和	順

四

山	孝	遊	忠					
兎	草	犬	志	幸	賞	郵	散	樂

五

天	政	愛	守					
星	神	青	民	幸	生	貧	不	病

練習 4 (時間九十秒)

下の各の問題の括弧の中から左に太い文字で書いてあるものに必ずあるものを一つだけ見出して、次
ぎの例に示してある様にその文字の下に線を引け。若し又必ずあるものが無かつたら、最も関係の深
いもの一つを選んで其の下に線を引け。

例 { 犬 [盜賊 家畜 牙 食物 猫]
成功 [怠惰 儉約 質素 勉強 旅行]

茲から始めよ

- | | | | | | |
|--------|-------|------|-----|----|-------|
| 1. 兎 | [山 | 耳 | 兎の子 | 犬 | 獵師] |
| 2. 机 | [脚 | 本 | 硯 | 生徒 | 机かけ] |
| 3. 不潔 | [貧乏 | 老人 | 便所 | 古着 | 病人] |
| 4. 歌 | [きゝて | オルガン | 聲 | 喜 | 涙] |
| 5. 雑誌 | [印刷 | 廣告 | 小説 | 繪 | 學生] |
| 6. 運動會 | [商人 | 見物人 | 競争 | 轉ぶ | 旗] |
| 8. 忠義 | [富 | 寄附 | 赤誠 | 入營 | 参内] |

(終)

検査 4 (時間四分)

下の各の問題の括弧の中から左に書いてある者に必ずあるもの、又は最も関係の深いもの一つを見出して其の文字の下に線を引け。わからぬのは飛ばして進め。

茲から始めよ

- | | | | | | |
|----------|--------|-------|------|----|--------|
| 1. 赤鐵鑛 | [重い | 鐵瓶 | 酸素 | 炭素 | 鑽石] |
| 2. 自轉車 | [人 | 油 | 丁稚 | 車輪 | 足] |
| 3. 貨幣 | [銅 | 紙 | 一圓 | 銀行 | 金高] |
| 4. 葉 | [橢圓形 | 鋸齒 | 葉脈 | 單葉 | 複葉] |
| 5. 牛肉 | [牛 | 骨 | 皮 | 脊肉 | 養分] |
| 6. 利根川 | [坂東太郎 | 吾妻川 | 霧 | 水 | 下總] |
| 7. 陸軍 | [戦争 | 外交 | 歩兵 | 國旗 | 號令] |
| 8. 水 | [奇麗 | 水蒸氣 | 谷 | 酸素 | 透明] |
| 9. 種子 | [枝 | 花 | 植物 | 子葉 | 雄蕊] |
| 10. 春 | [入學試験 | 櫻の花 | 上野 | 遊ぶ | 遠足] |
| 11. 紀元節 | [天長節 | 三大節 | 神武天皇 | 唱歌 | 勅語] |
| 12. コレラ | [微菌 | 消毒 | 生魚 | 警察 | 注射] |
| 13. 雪 | [豊年 | 温度の下降 | 雨 | 犬 | 風] |
| 14. 議會 | [衆議院 | 論争 | 開會式 | 天皇 | 縣會] |
| 15. 道德 | [人間 | 社會生活 | 戦争 | 弱者 | 守る] |
| 16. 文明 | [勉強 | 學校 | 發明 | 西洋 | 奢侈] |
| 17. 自殺 | [不満足 | 絶望 | 侮辱 | 勇氣 | ピストル] |
| 18. 幸福 | [富貴 | 學者 | 心の満足 | 及第 | 政治家] |
| 19. 悲哀 | [病苦 | 貧困 | 負傷 | 恐怖 | 恥] |
| 20. 社會 | [家屋 | 電車 | 人類 | 都會 | 政府] |
| 21. 忠實 | [勤勞 | 誠意 | 恭儉 | 博愛 | 奉公] |
| 22. 信長 | [耐忍 | 逆臣 | 勤王 | 孝行 | 謹慎] |
| 23. 赤十字社 | [谷干城 | 佐野常民 | 彰義隊 | 松陰 | 光圀] |
| 24. 宗教 | [佛教 | 寺 | 僧侶 | 教育 | 教師] |
| 25. 終了 | [始終 | 終點 | 結末 | 了解 | 習慣] |
| 26. 空想 | [現實 | 感情 | 想ひ出す | 空虚 | 夢] |
| 27. 優美 | [花園 | 善良 | 精巧 | 壯嚴 | 美麗] |
| 28. 學問 | [専門 | 科學 | 政治 | 道德 | 救濟] |
| 29. 産業 | [魚 | 農民 | 工業 | 事業 | 家業] |
| 30. 吉宗 | [海防 | 露西亞 | 白石 | 儉約 | 奢侈] |
| 31. 國家 | [國民 | 家庭 | 軍隊 | 鐵道 | 警察] |

(終)

練習 5 (時間九十秒)

下の一行中の言葉の中で、一つだけ他のものに比し、ある點から見て、著しく變つた言葉が一つある。其の言葉の下に線を引け。例へば例1では莖の外は皆花の部分の名稱である。夫故に莖の下に線を引くのです。又例2に於て上海の外は皆日本の港です。それ故に上海に線を引くのです

- 例 { 1 おしべ めしべ がく かかん 莖
2 門司 横濱 上海 神戸 吳

茲から始めよ

1. ふすま 障子 硝子戸 雨戸 戸棚
2. 佛教 神道 弘法大師 キリスト教 天理教
3. 自動車 自轉車 馬車 電信 汽車
4. 跳ぶ 走る 話す 立つ 歩く
5. 猿 犬 鶏 虫 雨
6. 石 方解石 黄鐵鑛 牛乳 砂
7. 1 2 $\frac{1}{8}$ 5 35
8. い は め ら ト

(終)

検査 5 (時間四分)

下の一行中の言葉の中で、一つだけ他のものに比し、ある点から見て、著しく變つた言葉が一つある。其の言葉の下に線を引け。よくわからぬのは飛ばして進め。

茲から始めよ

1. 米 麥 大豆 砂糖 粟
2. 福井 新潟 富山 函館 金澤
3. 花崗石 泥岩 れき岩 粘板岩 水成岩
4. ボーツマス條約 條約國 下關條約 天津條約 通商條約
5. はまぐり いか しじみ あさり かき(牡蠣)
6. リバプール ボンベイ 香港 伯林 マルセーユ
7. 永祿 天正 安徳 慶長 安政
8. (あ)をざり やなぎ 桃 つばき 櫻
9. かたつむり たにし さゝえ あはび
10. 青銅 はんだ 銀 しんちゆう 白銅
11. 大腸 小腸 血管 直腸 食道
12. ボストン フィラデルフィヤ シヤトル ニューオルリヤンス ニューヨーク
13. たけのご まつだけ はつだけ しょうろ しひたけ
14. ブルッセル マドリード リマ アテチ クリスチャニヤ
15. 市役所 府廳 郡役所 町役場 銀行
16. てんぐさ つのまた せんまい ひじき あをさ
17. 慶尙 澎湖島 忠清 咸鏡 全羅
18. 石炭ガス コールタール コークス 石灰 石炭
19. 虎列刺 痘瘡 猩紅熱 腦病 赤痢
20. 岡山 廣島 山口 鳥取 愛媛
21. 安房 對島 能登 大隅 伊豆
22. 尊氏 北畠顯家 正成 義貞 名和長年
23. 貴族院 國會 縣會 帝國議會 衆議院
24. 文章 詩歌 小説 論文 演説
25. 學習 研究 實驗 享樂 觀察
26. 君主 天皇 大統領 皇帝 帝王
27. 奇麗 華 麗 清 美
28. 心 情 靈 魂 心臟
29. $\frac{1}{2}$ $3\frac{2}{5}$ 4 100 3:8
30. 綿密 周到 細密 精緻 敏速

(終)

練習 6 (時間二分)

次の句を、句の左の数字の順序に結びつけて讀むと意味のある文章となる。

- | | | | | | |
|-----|---|-------------|-----|---|--------------|
| 例 1 | { | (4) 心の | 例 2 | { | (2) 世界に |
| | | (2) 昨日逢つた | | | (5) かも知れません |
| | | (1) 私の | | | (1) ワシントン會議は |
| | | (3) 人は | | | (4) もたらず |
| | | (5) やさしい方です | | | (3) 永久の平和を |

それならば次の句をどんな順序に結びつけるか、意味のある文章となるか。

各句の左に算用數字で其の順序を示せ。

1. () 暴風雨は
() 三日夕刻より一層
() 信越の國境
() 猛烈となりました
() 方面の
2. () 現金
() 某村の
() ある家へ
() 一人の強盜が押入つて
() 某郡
() 某縣
() 強奪逃走しました
() 百十四圓を

(終)

検査 6 (時間十五分)

次の句をどんな順序に結びつけるか、意味のある文章となるか。各句の左に数字で其の順序を示せ、出来ないのであれば飛ばして進め。一つの問題の全部ができなければ、一部を結びつけて意味あるものさせよ。

茲から始めよ

- | | |
|---|---|
| 1. () 困りましたそうです
() 遠足には
() 雨が降つて
() 昨日の
() 途中から
() 学校生徒が | 2. () 風に
() 似てゐます
() 赤ちやんの
() 散る紅葉
() お手々に
() ばらばら |
| 3. () 才學をもちながら
() 常に「いろは」の
() 花子は
() 過したりといふ
() 知らぬ顔して
() 少しも高慢の風なく
() 文字をだに
() 非凡の | 4. () 輸入せられて
() 我が國の建物は
() 石造又は煉瓦造りの建物
() おほむね
() 近來洋式建築法の
() 建設せらるゝに至れり
() 諸所に
() 木造なれども |
| 5. () 江戸時代には
() されば大正の時代にも
() 鎌倉の趣味あり
() 趣味なかるべからず
() 趣味は
() 江戸の趣味あり
() 時代によつて異なり
() 亦大正の
() 鎌倉時代には | 6. () 盡く其面目を一新せり
() 教への標準も
() 失ふに至りぬ
() 王政維新の初め
() 遂に其の威力を
() 是を以て従來
() 舊物を一洗して
() 市民の遵奉せし
() 諸物 |
| 7. () を讀み
() 世上に益なき文學
() 學問とは
() 身を立て、人を益し
() 唯むづかしき字を知り
() を云ふにあらず
() 和歌を樂み詩を作るなどの
() ものゝ謂ひなり
() 幸福をもたらす
() 解し難き文章
() 廣く人のために | 8. () かあさまどうして
() お家をしたつて
() 坊やはよい子だ
() ねんねのお夢に笛の音の
() 鳴りますか。
() 泣く聲ぞ。
() 向ふにきこえる笛の音は
() ねんねしな
() きこえるお山をゆめみやれ(終)。
() あれは遠くの風の子が
() 寒中はだかのさむ風に |

(終)

練習 7 (時間九十秒)

甲の一の各の文を讀みて其の意味を考へ、次に甲の二の文章を讀み兩者相似たる意味のものを見出して、甲の二の文に附記せる番號を甲の一の文の括弧の中に記入せよ。今下に例を示す。

- 例 { (2) 天は自ら助くるものを助く。
(1) 蹈み登る道は一つにあらねども、同じ高嶺の月を見るかな。
1. 國を思ふ道に二つはなかりけり、軍のには立つも立たぬも。
2. 獨立獨歩

甲の一

- () 孝は親をやすんずるより大いなるはなし。
() 濁りなき心の水に清む月は、波もくだけで光ぞなる。
() 明治維新。
() さして行く笠置の山を出でしより、天が下にはかくれがもなし。

甲の二

1. 大化の革新。
2. いかにせん頼むかげさて立寄れば、尙袖ぬらす松の下露。
3. 我が身を守るは孝の初めなり。
4. 見ん人の爲めにはあらで奥山に、おのが誠を咲く櫻かな。

(終)

検査 7 (時間十分)

甲の一の各の文を読み其の意味を考へ、次に甲の二の文を読み、兩者相似たる意味のものを見出して、甲の二の文に附記せる番號を甲の一の文の括弧の中に記入せよ。乙の一、乙の二につきても同様のことを成せ。急がすによく考へてせよ。出来たら一度よく檢べて見よ。

茲から始めよ

甲の一

- () 早起きの鳥は蟲を捕へる。
- () 焼けた跡を見て泣き叫ぶな。
- () 踏まれても根づよく忍べ道芝の、やがて花咲く春は來ぬべし。
- () 死或は泰山より重く、鴻毛より輕し。
- () 報いをば目の前に見よ蟲けらを、取り食ふ鳥の鷹に捕らるゝ。
- () 心とて人に見すべき色ぞなき、たゞ行と言の葉に見ゆ。
- () 邪はそれ正に勝ちがたし。
- () 馬鹿は書物の表紙を見て買ふ。
- () やけどをした小兒は火を恐れる。
- () 羅馬は一日にして成りたるものにあらず。

甲の二

1. 如何ともなし難いことに心を煩すは愚の至りなり。
2. ちよつとした一言一行にも、その人の性質が宿て居る。
3. 失敗は用心の母。
4. 成功せんと思はゞ、時間を惜め。
5. 大事業は積年の功なり。
6. 己れに出でたるものは又己れに歸る。
7. うその餌で鯉は釣られる。
8. 湧きかへる胸に劍をおしあてゝ、言ひたきことを暫し止めよ。
9. 正義は最後の勝利なり。
10. 同じ物も事情によつて價值が變る。

次ぎの頁に進め

検査 7 のつづき

乙の一

- () 猫の留守には鼠が遊ぶ。
- () 曳かれなば悪しき道にも入りぬべし、こゝろの駒に手綱ゆるすな。
- () 空虚な器は大きな音を立てる。
- () 小きき裂口から大船も沈む。
- () 大丈夫まさに雄飛すべし。
- () 人の噂も七十五日。
- () 竝び行く人にはよしや後るごも、正しき道を履みなたがへそ。
- () 精神一到何事が成らざらん。
- () 吾身の富貴は父母の積善に在り。
- () 瓜の蔓には茄子はならぬ。

乙の二

1. 多く語るものは深く考へない。
2. 邪にして勝つよりも正にして負けた方がよい。
3. 浮草の様にあるな、蓮の如くしかと根を下せよ。
4. 陽氣の發する所金石亦透る。
5. 奥様のお留守に女中のお正月。
6. 今年の衣食は昨年の産業にあり。
7. 志はすべからく大なるべし。
8. 親に似た子供。
9. 塵も積りて山を成す。
10. 時間はすべてを忘れしむ。

(終)

検査 8 (時間三十五分)

次ぎの文章を読んで答をかけ。速くてまちがうよりも、おそくとも正しいのがよい。心を落ちつけて、急がず誤りなくせよ。この紙のどこにでも演算をなし、又は何か書くことがあれば書いて答を出してもよい。むづかしいのは飛ばして進め。時間があつたら更にためして見よ。

(一) 太郎のお金と二郎のお金を合せるると百八十圓となり、二郎のお金から太郎のお金をひくと四十圓残る。それならば、

太郎のお金はいくらか、答 圓 銭
二郎のお金はいくらか、答 圓 銭

(二) 三つの数の和が3となる場合を六通り記せ。六つ出来なければ、いくつでもよい。

答 { 1.
2.
3. } 答 { 4.
5.
6. }

(三) 鉢にお盆に栗と柿と梨とリンゴと合せて二十二個のせてある。栗と柿とを合せるると十一個となり、柿と梨とを合せるると八個、梨とリンゴと合せるると十一個となり、柿は五個あるだけです。それならば、

栗はいくつか、答 個
梨はいくつか、答 個
リンゴはいくつか、答 個

(四) 今子供に梨を六つづゝわけてあたへたら、五つあまつた。八つづゝわけてみたら、三つたりなかつた。それならば、

梨の数はいくつか、答 個
子供の数は幾人か、答 人

(五) 次ぎの数字の略せられて居る所に前と後の数字の関係から見て適当な数字を記き入れよ。

1	1	2	3	4	5		7	8	9	10
2	10	12		16	18		22	24	26	28
3	12	11	10		8	7			4	3
4	1	3		7	9	11	13	15	17	

次の頁に進め。

検査 8 のつゞき

5		39	37	35	33	31	29		25	23
6	4	5	7		14	19	25	32	40	
7	$\frac{1}{64}$	$\frac{1}{32}$	$\frac{1}{16}$		$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$		2		8
8	8	15		29	36	43		57	64	71
9	10		15	16	20	21		26	30	31
10	7		10	11	13	14				20
11		4	9	16	25			64	81	100

(六) 次ぎの二つのものは如何なる點がちがつてゐるか。その最も大切な相違から順次に三つ記せ。

1. 手と足の相違 答 { 1.
2.
3. }
1. 信義と孝行との相違 答 { 1.
2.
3. }
3. 總理大臣と陸軍大臣との相違 答 { 1.
2.
3. }

(七) 下の問の文章を読み、右の括弧の中にある二つの答の中で正しい方の語の下に線を引け。

- 例、猫はねづみをこりますか。(はい……………いゝえ)
- 用心さへすれば病氣はつきませぬか。(はい……………いゝえ)
 - ゴムマリを暖めるとよくはねかへるのは、マリが軽くなるためですか。(はい……………いゝえ)
 - 都會に病人の割合に多いのは、住民の多いためですか。(はい……………いゝえ)
 - 良心のある人でも過をいたしますか。(はい……………いゝえ)
 - 尊敬すべき人々は、通常尊ばれますか。(はい……………いゝえ)
 - 貧民にお金を與へるのは、何時でもよいことですか。(はい……………いゝえ)

次の頁に進め。

検査 8のついき

(八) 茲に花子、雪子、お鈴、お梅、春代の五人の女の子が居る。是等の女の子の袴の色は海老茶であるが、其の濃いさが皆ちがつて居る。花子の海老茶はお鈴のより濃いがお梅のよりうすい。お梅のは花子やお鈴のよりも濃い。春代のはお梅のよりうすいが、雪子のよりすつと濃い。お鈴のは花子のより少しうすいが、雪子のよりは少し濃い。花子のは雪子のよりすつと濃く、お梅のよりはすつとうすい。花子と春代とのを比較すると、春代のが少し濃い。それならばだれの袴の色が一番濃くて、だれのが一番うすいか、其の女の子の名前に線を引け。

答、花子、雪子、お鈴、お梅、春代

(九) 太郎は真直い一本道を東へ東へ行く途中で、花子さんと春子さんに出あひました。花子さんは次郎さんに會ひました。次郎さんは途中で道を右へ曲りました。そして向ふからくる秋雄さんに出あひました。秋雄さんは何れの方角へ向つて行つてゐるのでせうか。其の方向に線を引け。

答 東 西 南 北

(十) 身體が健康で仕事に熱心で、人に對しては誠意があり、國家に對しては奉公の念の厚い人物は常に社會の人々から尊敬せられる。それならば次ぎの五人の中で誰れが社會から最も尊敬を受けるか、其の人の名前に線を引け。

太郎 脊が高く溫和で國家に對して奉公の念が厚い。世界戦亂の時にも一番に義勇兵を志願して出征した。身體が丈夫で、テニスに熱心で、人に對しては變らぬ誠意がある。戦争の話が上手なので町の人が賞めて居る。

二郎 身體が健康で何時も運動會には一等賞をさる。平素は大變に仕事に熱心で、あんな働き手はないとの評判です。親に對して孝行を盡し、父母の病氣の時などは、帶も解かず食事まで忘れてよく介抱する。先日そのため村長さんからほべびをいただいた。彼のすきなものは勉強と遠足です。

三郎 色が白く賢くて、身體が丈夫だ。人に對しては私利を顧みず、國家のためには自分のことを忘れて骨を折る。談話が上手で三郎が來ると皆集つて面白い話を聞く。遊戯はビンボンとベースボールが、すてきにうまい。それで始終新聞にほめられて居る。

四郎 脊が高く溫和で、國家に對しては私利を顧みずよく盡し、人のためには自分のことも忘れて世話なし、仕事に對してはわき目も振らない。身體は丈夫でまだ一度も薬を飲んだことが無い。遊戯はテニスと水泳がすきです。

五郎 脊が餘り高くないが、肉づきがよく始終健康でまだ一度も風邪もひかない。自分の仕事に熱心で、好きな遊戯もめつたにしない。人に對して親切で先日もある友人が病氣でしたら、二週間も續けて介抱に行つた。近所の人々も感心な人だと皆賞めて居る。高飛が上手で昨日も運動會で一等になつた。

答 太郎 二郎 三郎 四郎 五郎

次の頁に進め。

検査 8のついき

(十一) 次ぎの文字を皆使つて意味のある文章を綴れ。この文字の外に必要な他の文字をも使つてよい。文章は出来るだけ短かく、はつきりと綴れ。

茲から始めよ

1. 世界 強國 増進 國勢

答

2. 慈善 誤 天皇 趣意

答

3. 山脈 交通 船舶 物産

答

4. 水面 光 方向 空氣

答

5. 春風 霞 菜の花 夕月

答

6. 日本 偉大 失敗 跡 五十年

答

終

検査 9 (時間四十分)

次ぎの文字の読みかたを記せ。線のあるところには読み方はいらない。次ぎに文字の意味を記せ。文字が地名ならば其の位置を、人名ならば其の人の性質又は事業の一つを、物なれば其の物の性質又は特徴の一つを記せ。之等のものゝ性質、事業、特徴等は唯一つでよい。わからぬのは、飛ばして進め。

番 號	解答すべ き文字	読み方 を書け る ところ	意味、位置、性質、事業 特徴等を書くところ	番 號	解答すべ き文字	読み方 を書け る ところ	意味、位置、性質、事業 特徴等を書くところ
1	ぬかづく	/		26	花 粉	/	
2	さもあらん	/		27	炭酸瓦斯		
3	つぶさに	/		28	水 晶	/	
4	かまびすし	/		29	生 石 灰		
5	さはあれ	/		30	吸上ポンプ		
6	強 制			31	電 磁 石	/	
7	輕 侮			32	苛性曹達		
8	市井の感化			33	苧 科		
9	世の轉變			34	斷 層		
10	風 光			35	挺 子		
11	争 奪			36	ボンベイ	/	
12	比 較			37	チーブルス	/	
13	有 爲			38	阿武隈川		
14	烏合の衆			39	鴨 綠 江		
15	逗 留			40	コロンボ	/	
16	公 方			41	鎮 南 浦		
17	ポーツマス 條約	/		42	保 安 林		
18	後三年の役			43	香 港		
19	廢 藩			44	マニラ	/	
20	天孫降臨			45	敦 賀		
21	アマゾン川	/		46	海 峽		
22	平 壤			47	巴 里		
23	門 司			48	松 島		
24	榛 名 山			49	サンフラン シスコ	/	
25	別 子			50	境 の 浦		

次ぎの頁に進め

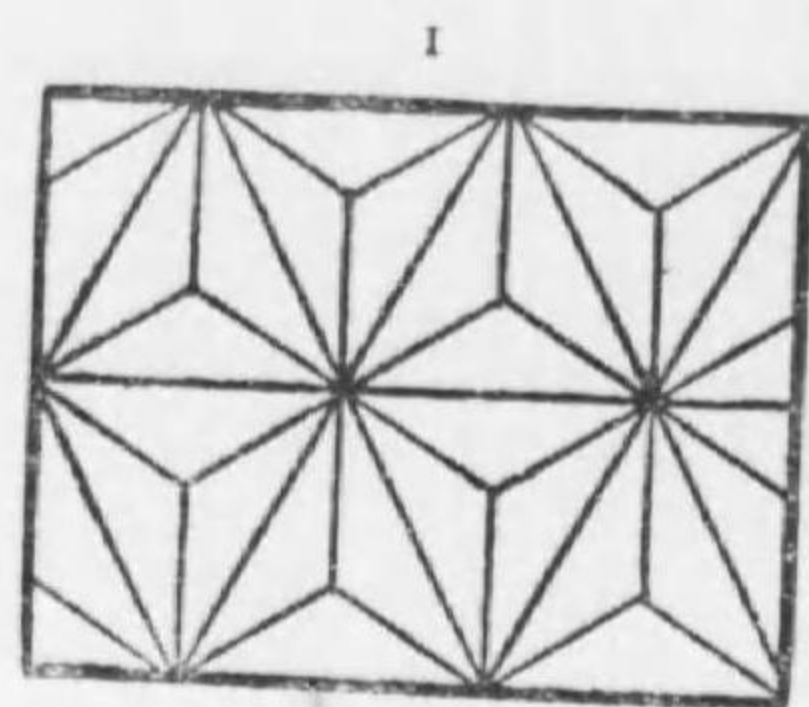
検査 9 のつづき

番 號	解答すべ き文字	読み方 を書け る ところ	意味、位置、性質、事業 特徴等を書くところ	番 號	解答すべ き文字	読み方 を書け る ところ	意味、位置、性質、事業 特徴等を書くところ
51	承久の亂			76	大化改新		
52	明治維新	/		77	刑 事		
53	菊池武光	/		78	勝 安 房		
54	譜代大名			79	桶 狭 間		
55	體 積			80	檢 事		
56	行 啓			81	マルセーユ		
57	吹 雪			82	下 關		
58	定期航路			83	小 樽		
59	淨 瑠 璃			84	鎌 倉		
60	御 稜 威			85	臺 北		
61	司 法 省			86	測 候 所		
62	理 事 官			87	小笠原諸島	/	
63	凱 旋			88	ワシントン	/	
64	下情上達			89	ホノルル	/	
65	遊牧の民			90	カルカッタ	/	
66	服 膺			91	外 科		
67	内務部長			92	歎 心		
68	版 圖			93	山 緒		
69	日刊新聞			94	首 相		
70	公 債			95	航 空 隊		
71	名 折			96	國 是		
72	硫 黃			97	手 練		
73	諸 等 數			98	自 若		
74	民 法	/		99	極東政策		
75	自 治	/		100	輔 弼		

(終)

検査 10 (時間十六分)

下の1.2.3.4.の図の中二個を模写せよ。但し其の二個は1.2.の中から一個、3.4.の中から一個を撰べ。大きさは手本より小さくならない様に、手本と略ぼ同じ大きさに、そして出来るだけ精密に畫け。初めの八分に一個を、後の八分に他の一個を畫け。時間は検査者が知らせる。何れも全部出来上らなくともよい。急がずていねいに模写せよ。



補助検査練習 1 (時間二分)

次ぎの一むれの數字の中に6と8があつたら○を、2と5と7があつたら×を、其の他の場合は / を の内に記せ。今下に例を示す。

例

1	2	3	4
6013872 <input checked="" type="checkbox"/>	5132479 <input checked="" type="checkbox"/>	1934025 <input type="checkbox"/>	8461390 <input checked="" type="checkbox"/>

茲から始めよ

[6と8] [2と5と7]

2175087 <input type="checkbox"/>	3402519 <input type="checkbox"/>	7283106 <input type="checkbox"/>	6139048 <input type="checkbox"/>
6215397 <input type="checkbox"/>	1384967 <input type="checkbox"/>	6579430 <input type="checkbox"/>	7596304 <input type="checkbox"/>
2561809 <input type="checkbox"/>	3254709 <input type="checkbox"/>	9483650 <input type="checkbox"/>	9756403 <input type="checkbox"/>
9125347 <input type="checkbox"/>	4576498 <input type="checkbox"/>	3049756 <input type="checkbox"/>	6431528 <input type="checkbox"/>
3495760 <input type="checkbox"/>	2670459 <input type="checkbox"/>	8250649 <input type="checkbox"/>	2173548 <input type="checkbox"/>

出来たらまちがつてはゐないか、檢して見よ。

(終)

補助検査 1 (時間七分)

次の一むれの数字の中に、6と8があつたら○を、2と5と7があつたら×を、1と3と4と9があつたら△を記せ。其の他の場合はノを記せ。

茲から始めよ	[6と8]	[2と5と7]	[1と3と4と9]
2085364	3420567	1983245	0136548
3169045	3964857	9786543	3926751
9428705	5317596	1364285	8790543
5026384	8053247	4258913	6054321
1912537	9316082	1320654	9035827
3026451	8173254	9847056	9123845
3745820	8790543	2354691	4318267
1037459	1345627	4126580	7895403
1945783	3496078	4560791	8354271
2874136	9842351	6135724	3495708
8051723	7029684	8324591	8057943
5604791	6345279	3461850	1697354
4036921	6052139	3954278	7203648
6047915	3096451	7964801	3478520
4756389	3987511	6502374	8901543
8705249	1490826	1295348	1135780
3259814	6035427	3511780	7048962
7801513	9135764	7849601	6359724
7081531	2037856	9745260	6435791
4783650	9380527	6251493	7085331

(終)

補助検査練習 2 (時間九十秒)

下の約束に従ひ、例に示してある様に、片假字の下に算用数字を出るだけ速く記入せよ。

約束	イ	メ	カ	ロ	ハ	ト	ニ	セ	ヨ
	1	2	3	4	5	6	7	8	9

茲から始めよ

イ	ハ	ニ	セ	メ	ト	ハ	ニ	カ	ロ	ト	セ	ヨ	カ	ヨ	イ	ロ	メ
1	5	7	8														

例

ロ	ト	メ	ハ	カ	ニ	イ	セ	ヨ	カ	ハ	セ	ニ	ト	イ	ロ	ヨ	メ

(終)

補助検査 2 (時間五分)

下の約束に従ひ、数字の下に符號を出来るだけ速く記入せよ。

約束	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	=	×	∧	-	∟	∟	+	∩	∨	⊥

茲から始めよ

1	5	0	7	2	6	3	8	1	9	4	3	5	0	7	8	4	2	9	6
6	4	5	0	9	7	9	2	8	3	1	7	8	5	0	6	4	1	3	2
4	9	2	6	0	7	3	5	8	1	8	5	2	7	1	0	6	3	4	9
2	9	3	1	5	0	6	4	7	5	9	3	8	1	8	4	0	7	2	6
3	4	1	5	2	6	0	7	9	5	8	2	9	3	8	1	7	0	6	4
6	1	4	2	9	3	7	0	5	9	8	2	8	4	1	5	3	6	0	7
2	1	6	4	3	9	5	8	0	7	9	1	8	7	3	4	6	2	5	0
0	6	2	7	1	4	5	3	9	0	9	7	2	4	6	1	5	8	3	8
6	0	7	1	4	3	5	9	2	9	0	8	7	1	6	2	5	3	8	4
1	5	7	2	6	4	8	3	9	6	7	2	8	5	0	1	9	4	0	3

補助検査 3 (時間十五分)

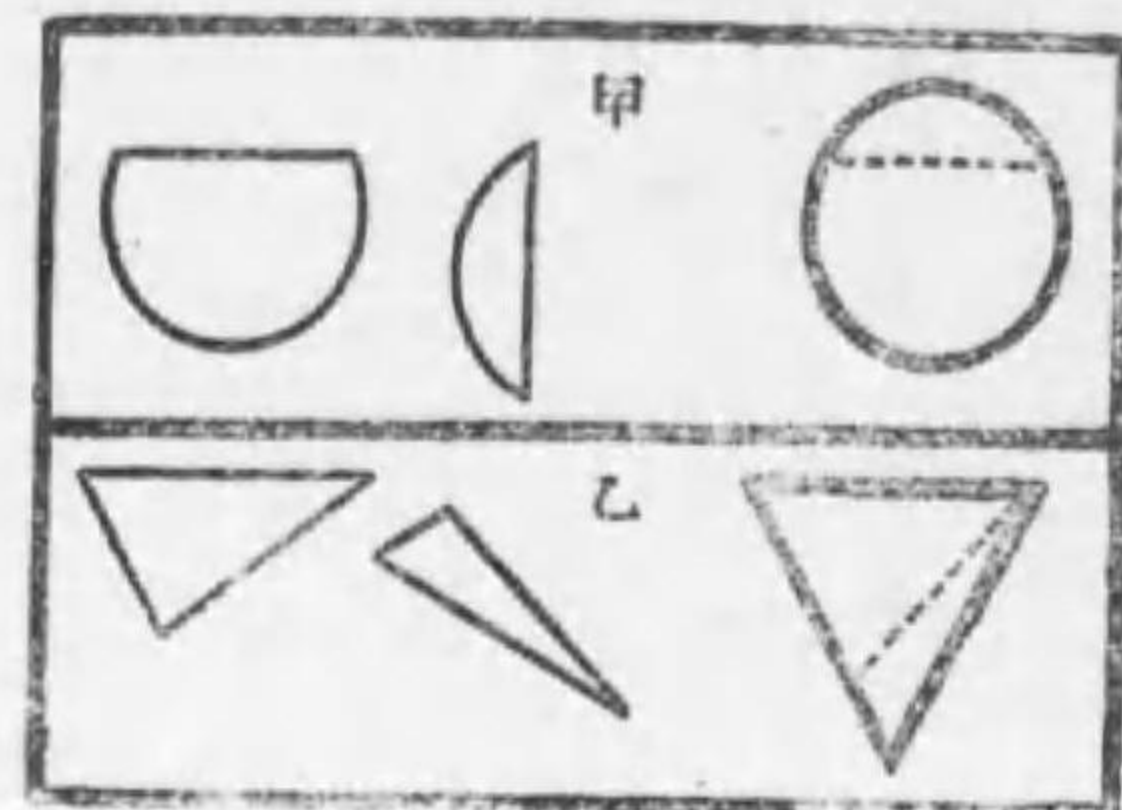
つぎの番號の右の文字を替つかつて答の次に文章を綴れ。若し又文字が足りなければ他の文字を加へてもよい。文章ははつきりとして短い程がよい。

1. さめました, めが,
答 {
2. コツブ, のむ, みづを, の,
答 {
3. はいさま, ました, あいさつ, わたくし,
答 {
4. すいめ, さくら, こゑ, はなこさん,
答 {
5. 夜, 星,
答 {
6. 球, 先生, 泣く, 子供,
答 {
7. 忠義, 滅亡, 國家, 市民,
答 {
8. 決心, 失望, 反復, 喜悅,
答 {
9. 涙, 胸, 脅やかす, 感動,
答 {
10. 愛, 寂びし, 願ひ, 空想,
答 {
11. 自覺, 神聖, 勞働, 歡喜,
答 {
12. 奇麗, 支配, 形式, 賞識,
答 {

(終)

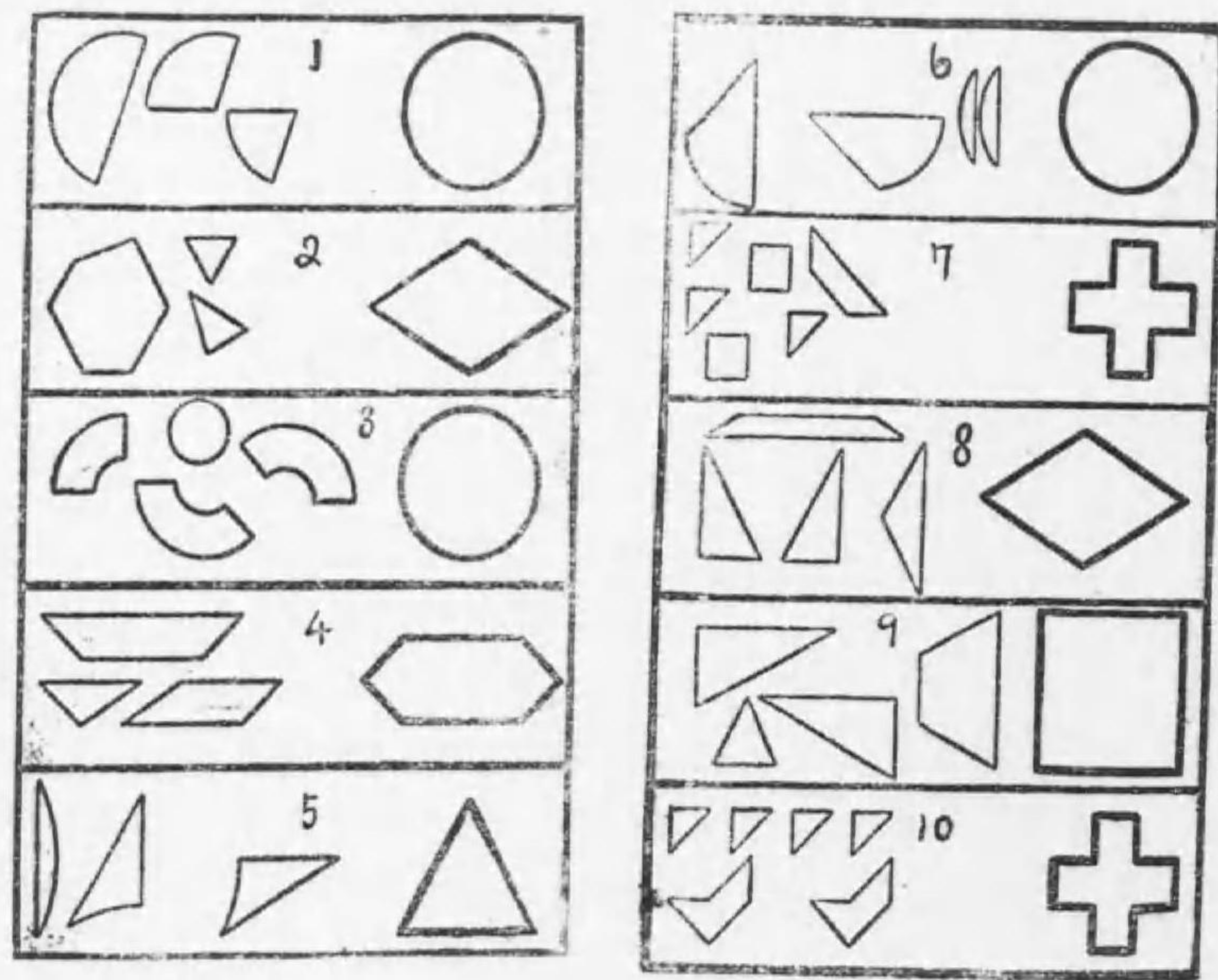
補助検査 4 (時間四分)

甲圖の左にある二つの形をその右にある圓から作らうと思へば圓を點線の通りに切ればよろしい。
又乙圖の左にある二つの形をその右にある三角形から作らうと思へば三角形を點線の通りに切ればよろしい。



それならば、次の各圖の左にある三つ乃至六つの形をその右の形の形から作らうと思へば、どんなに切つたらよろしいか。その切りとり方を線で示せ。間違はない洋にして出来るだけ速くせよ。

茲から始めよ



(終)

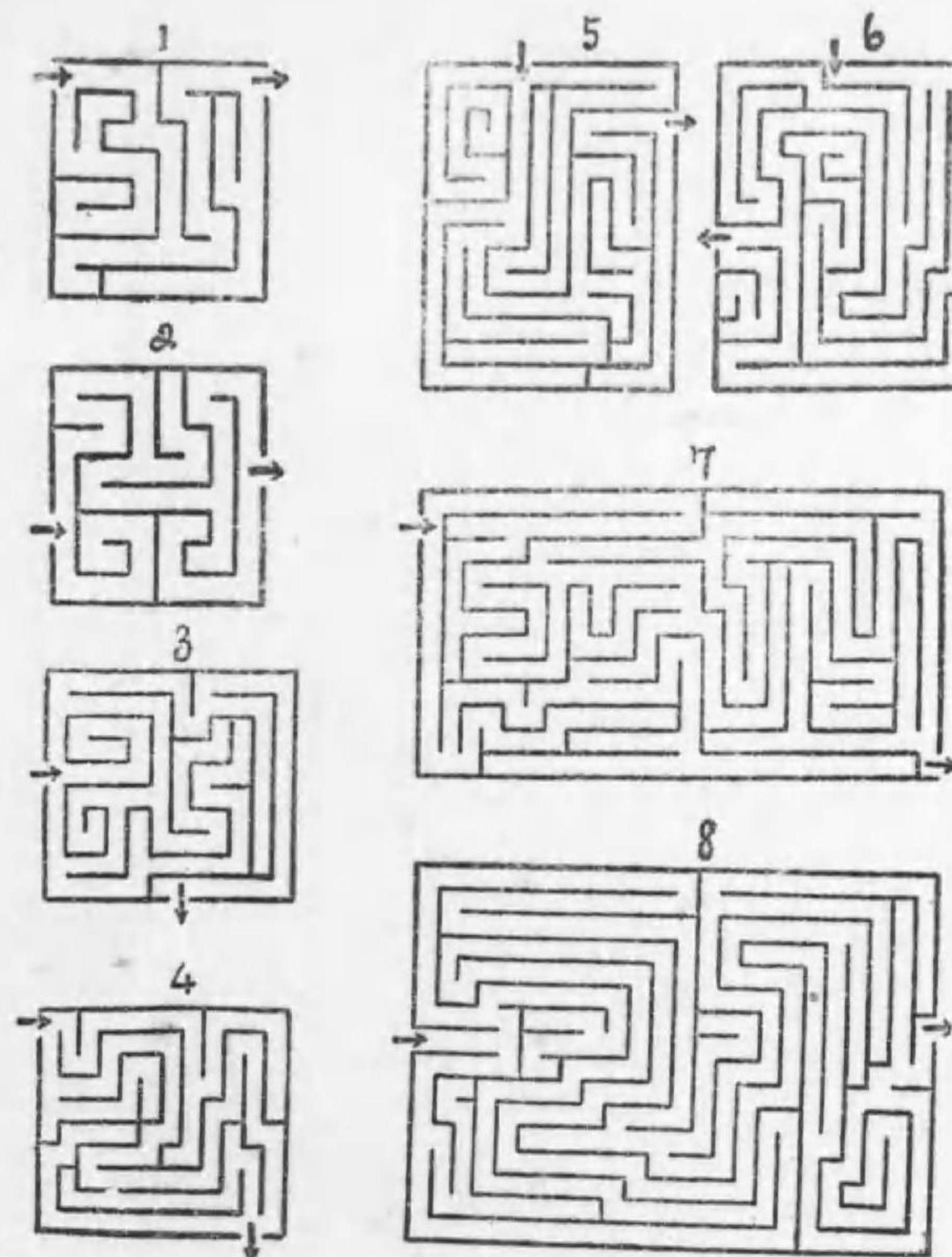
補助検査 5 (時間四分)

下の圖の線の間を點線の通りに通過すると、どの線にもふれないで、一方から他方に通りぬけられる。



それならば、次の圖の線の間をどんなに通過すれば、どの線にもふれないで一方から他方に、(矢の方向に)通りぬけられるか。其の通り路を線で示せ。出来るだけ速くせよ。

茲から始めよ



(終)

特115

999

一般素質検査

信不許

大正十一年一月五日印刷

納本

著作者 榎崎淺太郎
 印刷者 中校
 印刷所 東京市神田区

費金格

讀め精神検査法の實験

最新刊 一般素質検査法の試み

我國兒童の素質標準書本の出現に依り精神検査は始めて實際的意義を有したり

素質に關し教育に適應した標準は我國には乏しきものがある。然るに我國には國語的素質の検査法が出來た。これは實に國語の標準化が出來たのである。これは實に國語の標準化が出來たのである。これは實に國語の標準化が出來たのである。

榎崎淺太郎 一般素質検査法用紙

大正十一年一月五日印刷

全一冊洋紙約四百五十頁
 挿繪約百定價金參圓送料金拾八錢

兒童精神學的研究

榎崎淺太郎 著

東京市神田区

發行所 東京市神田区 中區文書館 電話 四八〇五番
 東京市神田区 電話 四八〇五番

終